MOT

2023年度
ガイドブック別冊

東京理科大学
専門職大学院

CURRICULUM COMPILATION TABLE

授業科目相関図

ディプロマ・ポリシー
［修了認定・学位授与の方針］

技術経営専攻（専門職学位課程）においては、理学と工学が一体となった「科学技術」、「経営」の実践的融合、「グローバルな視点」及び「高い職業倫理観」の育成を図った教育を通じて、高い実践的な専門性と倫理観、国際的視野を持ち、社会（産業界等）の急速な変化に敏速かつ革新的に対応し、社会を牽引することができる高度専門職業人である起業家・CXO※になる人材を育成することを目的として、本専攻に2年以上在学し、以下の知識（知見）・能力を最終成果物（グラデュエーションペーパー）により測り、本専攻の定める40単位を修得した学生に対して修了を認定し、技術経営修士（専門職）の学位を授与する。

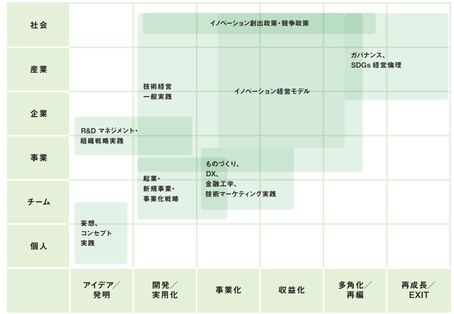
1. 技術経営及びその関連分野についての高度な実践的専門知識。
2. 技術経営及びその関連分野における高度な実務実践能力。
3. 「科学技術」と「経営」の実践的融合により、「理論」と「実践」の両面からイノベーションに係る課題を把握・分析することができる能力。
4. 既存の科学技術研究の成果を基礎に、イノベーションに係る新たな仮説を設定することができる能力。
5. 技術開発から市場化へのプロセスにおける一連のイノベーションを担い、課題解決することができる能力。
6. イノベーションに係る課題の解決策を戦略的に提案・論証することができる能力。
7. 起業家・CXO※に必要な高い職業倫理観を持ちつつ、高度な実践知と卓越した能力をもとに、グローバルな視点を持って適応し活躍できる能力。

※CXO：CEO、COO、CTO、CFO、CMOなどの企業活動における業務や機能の責任者の総称

	科目区分	授業科目の名称	関連区分	ディプロマ・ポリシー 1 実践的専門知識	2 実務実践能力	3 課題把握・分析能力	4 仮説設定能力	5 課題解決能力	6 解決策提案・論証能力	7 活躍能力	固有目的 実践的場の提供	グローバルな視点	授業内容に含む項目（キーワード） 時間軸・価値観	異文化コミュニケーション	多様性	未来志向	意思決定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
				講義でのレポート			GP一般解		GP特別解									研究開発マネジメント	イノベーションと科学技術	企業産業分析予測	経営倫理とリスク管理	組織と人事	経営戦略とマーケティング	イノベーションのための財務会計	イノベーションを生むデザイン・デジタル戦略	イノベーションを生むビジネス	技術経営（MOT）入門	地域産業資源と伝統技術	標準化戦略	社会的安全保障	科学技術・産業政策	産学官連携イノベーション展開	技術経営知財戦略	イノベーションを生む競争政策	ビジョナリー・アート・妄想力	イノベーションエコシステム	新規事業戦略	スタートアップサイエンス	情報アナリシス	企業・経営者倫理	技術経営におけるガバナンス・法務戦略	イノベーション志向ESG SDGs戦略	イノベーションを創出する人事戦略	アドバンスドリーダーシップ	実践グローバル行動経済分析	価値創造	技術経営ビジネスプロセスマネジメント	技術経営マーケティング	技術経営ブランド・ブランディング戦略	グローバルイノベーションマクロ文化論	フィンテック戦略	実践M&A戦略	イノベーションを生む財務戦略	経営理論概要	海外展開基礎理論
1	基盤科目	技術経営入門	k0	○	○	○					○				○	○	○																														
2		イノベーションと科学技術	k1	○	○	○					○				○	○	○		●																												
3		企業産業分析予測	k2	○	○	○					○				○	○	○		△	●																											
4		経営倫理とリスク管理	k3	○	○						○				○	○	○		○	△	●																										
5		組織と人事	k4	○	○	○					○	○			○	○	○			△	△	●																								
6		経営戦略とマーケティング	k5	○	○	○					○	○			○	○	○		○	△	△	△	●																							
7		イノベーションのための財務会計	k6	○	○						○				○	○	○		△	△	△	△		●																						
1	専門科目	研究開発マネジメント	k1	○	○	○	○	○	○	○	○				○			○	○	○	○	○	○	○	○	●																				
2		イノベーションを生むデザイン・デジタル戦略	k1	○	○	○	○	○	○		○				○			○	○	○	○	△	○	○	△	○	●																			
3		技術経営ものづくり	k1	○	○	○	○		○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	●																	
4		ICTとクラウドビジネス	k1	○	○	○	○	○	○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	●																
5		地域産業資源と伝統技術	k1	○	○	○					○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●															
6		標準化戦略	k1	○	○	○					○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●														
7		社会的安全保障	k1	○	○	○					○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●													
8		科学技術・産業政策	k1	○	○	○			○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●												
9		産学官連携イノベーション展開	k1	○	○	○					○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●											
10		技術経営知財戦略	k1	○	○	○					○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●										
11		イノベーションを生む競争政策	k1	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●								
12		イノベーションエコシステム	k1	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●							
13		ビジョナリー・アート・妄想力	k2	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●						
14		新規事業戦略	k2	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●					
15		スタートアップサイエンス	k2	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●				
16		情報アナリシス	k2	○	○	○	○	○	○		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●			
17		企業・経営者倫理	k3	○	○	○					○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●		
18		技術経営におけるガバナンス・法務戦略	k3	○	○	○					○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
19		イノベーション志向ESG SDGs戦略	k3	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
20		イノベーションを創出する組織戦略	k4	○	○	○					○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
21		イノベーションを創る人事戦略	k4	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22		アドバンスドリーダーシップ	k4	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23		実践グローバル行動経済分析	k5	○	○	○					○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24		価値創造	k5	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25		技術経営ビジネスプロセスマネジメント	k5	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26		技術経営マーケティング	k5	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27		技術経営ブランド・ブランディング戦略	k5	○	○	○					○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28		グローバルイノベーションマクロ文化論	k6	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29		フィンテック戦略	k6	○	○	○					○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30		実践M&A戦略	k6	○	○	○		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31		イノベーションを生む財務戦略	k6	○	○	○					○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32		経営理論概要			○	○						○				○																													
33		海外展開基礎理論			○	○					○	○				○	○																											

k：基盤科目の内容に基づく科目の関連を示す

グラデュエーションペーパーの創出に関係する教員の研究領域



グラデュエーションペーパー事例

鶴賀寿和さん（2021年3月修了）
CKD株式会社

［題目］
価値創造を促す『見せる工場』によるオープンイノベーション
～工場見学と生産技術オープンラボを対話イノベーションの場に～

［概要］
転換期を迎える製造業において、従来の取引関係でない、価値を創造する顧客との関係を考える。ものづくり現場としての工場の機能に着目し、その要となる生産技術研究所を起点とした価値創造のしくみを提案する。

主査 若林秀樹教授　ペーパー区分 ビジネス企画提案

井田琢也さん（2021年3月修了）
芝浦メカトロニクス株式会社

［題目］
半導体パッケージおよびチップボンダーの価値創造

［概要］
More than Mooreで多様化する半導体パッケージの技術スペック単位と、チップボンダーのスペック単位との間にある法則性を見出し、さらにPost Moore時代のパッケージに向けた新たなスペック単位を提供し、双方の価値向上をめざす。

主査 若林秀樹教授　ペーパー区分 技術経営論文

横枕祐さん（2020年3月修了）
CKD株式会社

［題目］
Industry4.0におけるFA機器メーカーの共創戦略提案
～製薬業界に対する提案事例～

［概要］
製造業のIoT化により、工場もスマート化が進行し、プラットフォーマーの重要性が高まっている。空気圧FA(Factory Automation)機器メーカーの一つであるCKDが優位性を保つためには、データを収集し、工場のシステムとつながる機器を提案する必要がある。

主査 若林秀樹教授　ペーパー区分 ビジネス企画提案

佐久間昭宏さん（2022年3月修了）
CKD日機電装株式会社

［題目］
PMIにおける異文化企業間のシナジーを創出する組織戦略

［概要］
CKDグループに統合したCKD日機電装は、各々の異文化を尊重しつつ、製品開発では新結合を目指している。グループの開発や生産、販売などシナジーを導き出すとともに、各々の企業文化を活かした組織の提案を行う。

主査 若林秀樹教授　ペーパー区分 ビジネス企画提案

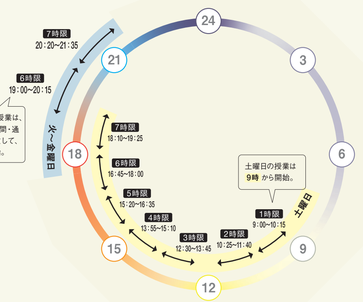
カリキュラム改正のポイント

東京理科大学専門職大学院は、イノベーション研究科を廃止し、2018 年度から新たに経営学研究科技術経営専攻として、教育課程の軸を経済・経営に力点を移して MBA 的要素を大きく取り入れたMOT1.0を第1期生とともにスタートしました。MOT1.0スタート後も、本専攻では社会(産業界等)の急速な変化に敏速かつ革新的に対応し、社会的要請に応えるための不断の改革により、2020年度にはMOT2.0、そして2023年度にはMOT3.0へとバージョンアップを推し進めます。MOT3.0ではディプロマ・ポリシーに基づいた高い実践的な専門性と倫理観、国際的視野を持ち「科学技術」及び「経営」の複眼的・実践的融合を通して社会を牽引する高度専門職業人を育成するためのカリキュラムを更に深化させるよう編成することで、学生のビジネスライフに配慮しながら、複眼的な理解思考を涵養し、更なる質の高いグラデュエーションペーパー（最終成果物）を世に創出するために必要な体制を構築します。

より社会人に適した学びの場に

通学しやすい時間帯

- MOT3.0の授業開講時間は、180分（1時限90分）・四半期8回から、150分（1時限75分）・四半期9回に変更します。



通学しやすい立地

- 授業を実施する神楽坂キャンパスの最寄りの駅は、鉄道5路線が交差する飯田橋駅となり、駅から徒歩5分以内の場所に学び舎があります。
- [交通案内]
  JR中央・総武線飯田橋駅西口より徒歩5分、
  地下鉄有楽町線・東西線・南北線・大江戸線飯田橋駅 B3出口より 徒歩1分

修了生へのアフターフォローの活動

- 本専攻では、修了した学生のさらなる質の向上と社会に対する質保証を目的に「知の定期健康診断」を実施し、修了後の現況確認サポート体制を構築しています。

オンラインによる学修環境の提供

- 授業形態は、一部の授業を除き対面とオンラインのハイフレックスで受講が可能です。
- 授業で使用するオリジナル教材の配付やレポートの提出はオンラインで行うことができます。また、大学からのお知らせもオンラインで配信します。

2022年度初年度納付金(年額)

入学金	授業料	施設設備費	合計
200,000円	1,170,000円	300,000円	1,670,000円

●授業料、施設設備費は2回に分納できます。
●2年次の授業料、施設設備費は1年次と同額となります。
●上記の他、その他の納付金として学生傷害共済補償費を徴収します。
●学校法人東京理科大学の設置する大学学部を卒業し、技術経営専攻に進学する者は、入学金を半額とします。

基盤科目

2022年度(MOT2.0)

科目区分	授業科目の名称	必・選区分	標準履修学年	単位数
基礎科目	科学技術基礎	選択	1	1
	財務・会計基礎			
	マーケティング基礎			
	経営基礎			
	経済学基礎			
コア科目	イノベーションを生む企業文化	必修	1	1
	組織進化論			
	イノベーション志向型経営戦略論			
	科学技術論			
	経営管理会計			
	マクロ・ミクロエコノミクス			
	イノベーション志向型マーケティング			
	コンプライアンス・リスク管理論			

MOT3.0

授業科目の名称
技術経営入門
イノベーションと科学技術
企業産業分析予測
経営倫理とリスク管理
組織と人事
経営戦略とマーケティング
イノベーションのための財務会計

社会連携科目

2022年度(MOT2.0)

科目区分	授業科目の名称	必・選区分	標準履修学年	単位数
社会連携科目	サービス関連産業特別講義	選択	1	2
	製造産業特別講義			
	先端科学技術特別講義			
	経営戦略・組織行動特別講義			
	金融産業特別講義			
	イノベーション・起業特別講義			

MOT3.0

授業科目の名称	
ことづくり産業特別講義	
ものづくり産業特別講義	
先端科学技術特別講義	
技術経営特別講義	新設

廃止
廃止
廃止

演習科目

2022年度(MOT2.0)

科目区分	授業科目の名称	必・選区分	標準履修学年	単位数
演習科目	実践CXO・起業家ケーススタディ1	選必	1	2
	実践CXO・起業家ケーススタディ2		2	
	実践CXO・起業家ケーススタディ3	選択		
	実践ケーススタディ		1	1
	プロジェクトエクサイズ	必修		
	プロジェクト1		2	2
	プロジェクト2			
	プロジェクト3			
	プロジェクト4			

MOT3.0

授業科目の名称
実践CXO・起業家ケーススタディ1
実践CXO・起業家ケーススタディ2
実践CXO・起業家ケーススタディ3
実践ケーススタディ
ゼミナールエクササイズ
ゼミナール1
ゼミナール2
ゼミナール3
ゼミナール4

MOT3.0

科目区分	教育領域 CEO・COOの知見	CFOの知見	CTOの知見	CMOの知見	CSOの知見	CHROの知見	起業家的知見	その他CXO・ステークフィルダーの知見	授業科目の名称	必・選区分	標準履修学年	単位数
基盤科目	○	○	○	○	○	○	○	○	技術経営入門	選択	1	2
	○	○	○	○	○	○	○	○	イノベーションと科学技術			
	○	○	○	○	○	○	○	○	企業産業分析予測			
	○	○	○	○	○	○	○	○	経営倫理とリスク管理			
	○	○	○	○	○	○	○	○	組織と人事			
	○	○	○	○	○	○	○	○	経営戦略とマーケティング			
	○	○	○	○	○	○	○	○	イノベーションのための財務会計			
専門科目	○	○	○	○	○	○	○	○	研究開発マネジメント	選択	1-2	2
	○	○	○	○	○	○	○	○	イノベーションを生むデザイン・デジタル戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	○	技術経営ものづくり			
	○	○	○	○	○	○	○	○	ICTとクラウドビジネス			
	○	○	○	○	○	○	○	○	地域産業資源と伝統技術			
	○	○	○	○	○	○	○	○	標準化戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	○	社会的安全保障			
	○	○	○	○	○	○	○	○	科学技術・産業政策			
	○	○	○	○	○	○	○	○	産学官連携イノベーション展開			
	○	○	○	○	○	○	○	○	技術経営知財戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	○	イノベーションを生む競争政策			
	○	○	○	○	○	○	○	○	イノベーションエコシステム			
	○	○	○	○	○	○	○	○	ビジョナリー・アート・妄想力			
	○	○	○	○	○	○	○	○	新規事業戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	○	スタートアップサイエンス			
	○	○	○	○	○	○	○	○	情報アナリシス			
	○	○	○	○	○	○	○	○	企業・経営者倫理			
	○	○	○	○	○	○	○	○	技術経営におけるガバナンス・法務戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	○	イノベーション志向ESG　SDGs戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	○	イノベーションを創出する組織戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	○	イノベーションを創る人事戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	○	アドバンスドリーダーシップ			
	○	○	○	○	○	○	○	○	実践グローバル行動経済分析			
	○	○	○	○	○	○	○	○	価値創造			
	○	○	○	○	○	○	○	○	技術経営ビジネスプロセスマネジメント			
	○	○	○	○	○	○	○	○	技術経営マーケティング			
	○	○	○	○	○	○	○	○	技術経営ブランド・ブランディング戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	○	グローバルイノベーションマクロ文化論			
	○	○	○	○	○	○	○	○	フィンテック戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	○	実践M＆A戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	○	イノベーションを生む財務戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	○	経営理論概要			
	○	○	○	○	○	○	○	○	海外展開基礎理論			
社会連携科目	○	○	○	○	○	○	○	○	ことづくり産業特別講義	選択	1-2	2
	○	○	○	○	○	○	○	○	ものづくり産業特別講義			
	○	○	○	○	○	○	○	○	先端科学技術特別講義			
	○	○	○	○	○	○	○	○	技術経営特別講義			
演習科目	○	○	○	○	○	○	○	○	実践CXO・起業家ケーススタディ1	必修	1	2
	○	○	○	○	○	○	○	○	実践CXO・起業家ケーススタディ2		1-2	
	○	○	○	○	○	○	○	○	実践CXO・起業家ケーススタディ3	選択	2	
	○	○	○	○	○	○	○	○	実践ケーススタディ		1	1
	○	○	○	○	○	○	○	○	ゼミナールエクササイズ	必修		
	○	○	○	○	○	○	○	○	ゼミナール1		2	2
	○	○	○	○	○	○	○	○	ゼミナール2			
	○	○	○	○	○	○	○	○	ゼミナール3			
	○	○	○	○	○	○	○	○	ゼミナール4			

【修了要件】
2年以上在学し、以下の科目修得条件を満たし、40単位以上を修得すること。
①必修科目を全て履修し、修得すること。
②専門科目から20単位以上を履修し、修得すること。

【履修方法】
①教員から履修を指導された学生は、指定された授業科目を履修し、修得すること。
②ゼミナール1の履修は、ゼミナールエクササイズを履修し、修得することを履修条件とする。
③授業科目毎に指定科目の履修を条件とする場合がある。
④1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限は、34単位とし、半期の単位数の上限は28単位とする。

MOT3.0 ← MOT2.0

【修了要件】
2年以上在学し、以下の科目修得条件を満たし、40単位以上を修得すること。ただし、基礎科目に配置する授業科目は、修了要件に含めない。
①必修科目を全て履修し、修得すること。
②実践CXO・起業家ケーススタディ1・2のどちらか一方を履修し、修得すること。
③2年次に配置されたトラック（履修コース）の選択科目を6科目以上履修し、修得すること。

【履修方法】
①教員から基礎科目の履修を指導された学生は、指定された授業科目を履修し、修得すること。
②2年次に配置科目の履修は、授業科目毎に定める指定科目の修得を履修条件とする。
③2年次に進級する条件は、全てのコア科目を履修し、修得する。

基盤科目

専門科目、社会連携科目及び演習科目を履修し、グラデュエーションペーパーに取り組むことで必要かつ共通の応用的知識や知見を修得する科目を配置する。
【授業形態】
「理論50~70：ケース10~20：グループ討論10~20：ゲスト0~10：校外学習0」

専門科目

学生の社会ニーズに応える能力、グラデュエーションペーパーを完成する上で、必要な専門的知見を修得する科目を配置する。
【授業形態】
「理論10~80：ケース10~30：グループ討論10~30：ゲスト0~70：校外学習0~20」

社会連携科目

イノベーションを起こすCXOや起業家を目指す学生が、必要とする知見を学ぶだけでなく、MOTの ほか、本学他学部、企業や業界団体等と交流、連携していく科目を配置する。
【授業形態】
「理論0：ケース0：グループ討論0~20：ゲスト70~80：校外学習0~20」

演習科目

CXOや起業家を目指す学生が、イノベーションを起こしてきた経営者や起業家等のケーススタディに触れる等の機会を通じ、学んだ知見を総合的に組立て、特別解として実践知を修得する科目を配置する。
【授業形態】
「理論10：ケース0：グループ討論50~70：ゲスト20~40：校外学習0」

専門科目

MOT3.0 授業科目の名称	トラック	トラック区分 EMOT	イノベーター	アントレ	2022年度(MOT2.0) 授業科目の名称	必・選区分	標準履修学年	単位数
研究開発マネジメント	専門		○		研究開発マネジメント	選択	1	2
イノベーションを生むデザイン・デジタル戦略			○		デジタルトランスフォーメーション			
技術経営ものづくり		○	○	○	技術経営ものづくり			
ICTとクラウドビジネス		○	○	○	ICTとビジネス展開			
地域産業資源と伝統技術			○	○	地域産業資源と伝統技術			
標準化戦略		○	○	○	標準化戦略			
社会的安全保障		○	○		社会的安全保障			
科学技術・産業政策		○	○		科学技術・産業政策			
産学官連携イノベーション展開	新設							
技術経営知財戦略			○	○	技術経営知財戦略			
イノベーションを生む競争政策		○	○		イノベーションを生む競争政策			
イノベーションエコシステム	新設							
ビジョナリー・アート・妄想力		○	○	○	ビジョナリー・アート・妄想力			
新規事業戦略	新設							
スタートアップサイエンス				○	スタートアップサイエンス			
情報アナリシス		○	○	○	情報アナリシス			
企業・経営者倫理		○	○	○	企業・経営者倫理			
技術経営におけるガバナンス・法務戦略				○	国際企業法務と戦略			
イノベーション志向ESG　SDGs戦略	新設							
イノベーションを創出する組織戦略		○	○		実践組織戦略			
イノベーションを創る人事戦略	新設							
アドバンスドリーダーシップ		○	○	○	アドバンスドリーダーシップ			
実践グローバル行動経済分析	新設							
					行動経済学	廃止		1
価値創造		○	○	○	価値創造			
技術経営ビジネスプロセスマネジメント	新設							
技術経営マーケティング		○	○	○	技術経営マーケティング			
技術経営ブランド・ブランディング戦略		○	○	○	技術経営ブランド・ブランディング戦略			
グローバルイノベーションマクロ文化論	新設							
フィンテック戦略		○	○	○	フィンテック戦略			
実践M＆A戦略		○			実践M＆A戦略			
イノベーションを生む財務戦略	新設							
経営理論概要			○		マネジメント総論			
海外展開基礎理論			○		日本企業の海外展開			
		○	○	○	技術経営覚入門	基礎科目へ		2
		○	○	○	企業産業分析予測	基礎科目へ		
		○			実践コーポレートファイナンス	廃止	2	
		○			企業合併と買収	廃止		
		○			アドバンスド戦略マネジメント	廃止		
		○			サブスクリプション	廃止	1	
		○	○	○	デザインコンセプト創造	廃止	2	
		○			グローバルビジネス交渉力	廃止	1	
		○	○	○	ユーザーイノベーション	廃止		
		○			先進ビジネスモデル	廃止	2	
		○		○	コーポレート・コミュニケーション	廃止	1	
		○	○		グローバル・チャイナ産業イノベーション	廃止		